

平成24年度新事業創出人材育成事業成果報告書

宮崎大学は、農業体験・ものづくり体験をはじめとする各種公開講座やシニアカレッジなど、社会人教育に取り組んできた数多くの実績を有する。

また現在、農業生産及び生産物の安心・安全に貢献する人材育成のための「国際的適正農業規範（International GAP）対応の食料管理専門職業人の養成」プロジェクトを運営している。

本事業では、これらの経験を活かし、宮崎を舞台に、恵まれた1次産業資源を活用した農業の6次産業化による新たなビジネスモデルを自立的に創出・展開できる人材育成を目的とした。

事業の具体的内容とその成果は以下のとおりである。

1. 検討委員会

本事業全般の企画・推進を検討・協議するため、学内関係者、有識者、講師、担当者からなる検討委員会（委員長；明石良プロジェクトリーダー）を編成した。

委員会は、「みやざき新事業創出人材育成講座（以下講座）」の企画・推進、特に受講生募集と講師選定について検討するため事業開始前に1回、講座の中間総括のために1回及び最終総括と次年度を含む今後の予定について検討するため講座最終日に1回の計3回開催した。

委員及委員会の開催日時等は以下のとおりである。

・ 委員（順不同）

- 村上 昇（宮崎大学農学部長・産業動物防疫リサーチセンター長）
- 堀井洋一郎（宮崎大学産学・地域連携センター長・副学長）
- 山本直之（宮崎大学農学部教授・人材育成講座講師）
- 篠原久枝（宮崎大学教育文化学部准教授・人材育成講座講師）
- 池田佳代子（三菱総合研究所主任研究員・人材育成講座講師）
- 明石 良（宮崎大学教授・プロジェクトリーダー）
- 川村 修（宮崎大学名誉教授・プロジェクトコーディネーター）

・ 開催日時

第一回

日時：平成24年7月30日（月）15：00～16：00

場所：三菱総合研究所 CR-A会議室

内容：事業打ち合わせ等（詳細は議事録）

出席：篠原、池田、明石、川村

第二回

日時：平成25年1月31日（木）16：40～17：30

場所：宮崎大学フロンティア科学実験総合センター遺伝資源分野
リフレッシュルーム

内容：経過報告、今後の予定等（詳細は議事録）

出席：村上、池田、明石、川村

第三回

日時：平成25年2月23日（木）16：30～17：30

場所：宮崎・青島パームビーチホテル会議室

内容：経過報告、今後の予定、次年度計画等（詳細は議事録）

出席：村上、山本、篠原、池田、明石、川村

2. プログラムの改良

講座は、平成22～23年度新事業創出人材育成事業で開発されたプログラムを基本とした。すなわち、各科目は、A；6次産業化実践論、B；1・2・3次産業基本論、C；経営・マーケティング基本論、及びD；新事業創出基本論の4科目、各科目15回の講義（1回90分）で構成し、科目AとDはそれぞれ11月と2月の土・日曜日の日中に、科目BとCは12月と1月の火・木曜日の夜間に、宮崎大学内にて開講した。なお、科目の順序は「基礎から応用」に敢えてこだわらず、受講生のモチベーション保持を重視して、最初と最後に実践論（AとD）、中間に基本論（BとC）を配置した。

各科目・講義においては、宮崎地域において重要な内容及び特有用な課題を盛り込むべく、部分的に改変して編成した。

改良の主な内容は以下のとおりである。

・ 改良内容（テキスト参照）

講義：地域資源利用パートでは、林業と畜産業に1コマずつあて、農業、水産業も加えて計4コマとした。加工パートは加工・防疫パートとし、食品加工論2コマは、食品製造学1コマとして「農場から食卓までの食品衛生管理」を加えた。流通販売パートのフードシステム論2コマは合して（基礎編、動向編）の1コマとした。その他、講師の都合で、講義順序を適宜入れ替えた。

順序：昨年度の科目1を科目B、科目2を科目C、科目3を科目A、科目4を科目Dと呼称した。その上で、開講順序を、「実践-基本-実践」となるように科目A-B-C-Dの順で配置した。

日時：受講生と講師の利便性を考慮し、科目AおよびDは土日の日中に、科目BおよびCは火・木曜日の夜間に開講した。

・ 著作権の取扱い

講師が作成した教材に関する著作権は宮崎大学に継承させた。

3. 講座の開催

受講生の募集は農林水産関係者はじめ幅広い分野からの受講生を対象として行い、講師と受講生の双方向対話型授業を実施するため、各科目について原則24名までとした。また特に女性の応募を歓迎する旨の案内を行った。その結果、受講生は、20歳代15名（内女性3名）、30歳代3名（内女性2名）、40歳代3名（内女性0名）、50歳代9名（内女性3名）、60歳代4名（内女性0名）となり、業種別では、農業生産従事者は8名、食品加工従事者は2名であった。講師陣は、行政機関から2名、会社等民間から7名（うち農業生産者3名）、三菱総合研究所から2名、宮崎大学から12名で編成された。

約4ヶ月間の講座を経て、全科目を約8割以上出席した修了認定者数は12名となり、修了証を発行した。また、各科目に約8割以上出席した受講生には受講証書を発行した。

さらに、受講生に対するフォローアップとして、希望者に対し「スキル到達度評価」を実施し「診断結果レポート」を発行した。

受講生、講座・講師・開講日時、修了生等についての具体的な内容は以下のとおりである。

・ 受講生募集

募集期間：平成24年9月1日～10月31日

募集方法・募集チラシ・募集チラシ配布先等：

募集チラシ・パンフレットを作成し、大学ホームページ
(<http://www.brc.miyazaki-u.ac.jp/>)に掲載すると共に、以下の機関・団体・個人等に直接出向く他電子メール・電話等により応募を呼びかけた。

NO	受講生募集・依頼先	備考
1	宮崎大学秘書広報課	大学内
2	宮崎県庁記者クラブ	報道機関
3	宮崎日日新聞	報道機関
4	宮崎大学農学部GAP事務局	大学内
5	宮崎大学産学・地域連携センター	大学内
6	宮崎太陽銀行	金融機関
7	宮崎太陽キャピタル	金融機関
8	(株)百姓隊	生産者団体（6次産業化実践者）
9	香川ランチグループ	生産者団体（6次産業化実践者）
10	財団法人宮崎県産業支援財団	行政機関
11	新サンフード工業株式会社	一般企業
12	宮崎食研有限会社	一般企業
13	有限会社ティーネットプロ	一般企業
14	高千穂町役場	行政機関
15	諸塚村役場	行政機関
16	日向市役所	行政機関
17	日向東臼杵南部広域連合	行政機関
18	宮崎まんなか市場	生産者団体
19	農業生産法人ファーマーズマンマ	生産者団体
20	農業生産法人コウヤマ	生産者団体（6次産業化実践者）
21	宮崎市役所農商工連携室	行政機関
22	有限会社中村牧場	生産者
23	(株)高千穂ムラたび	6次産業化実践者
24	学校法人宮崎総合学院	教育機関
25	ハローワーク宮崎	行政機関
26	宮崎青年会議所	一般企業
27	交流プラザきよたけ 四季の夢	生産者
28	A-コープ宮崎 清武店	生産者
29	A-コープ宮崎 木花店	生産者

・ 講座

場所：宮崎大学フロンティア科学実験総合センター遺伝資源分野
 セミナー会議室
 宮崎・青島パームビーチホテル（科目D：ビジネスプラン発表会
 I・IIのみ）
 日時・内容・講師：下表のとおり実施した。

科目A：6次産業化実践論

パート	回	各回名称	予定日	担当（敬称略）	
オリエンテーション	【0】	オリエンテーション	11/3（土）	宮崎大学 名誉教授 川村修（コーディネーター）	
	【1】	コミュニケーション手法		三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
6次産業化概論パート *1 11月18日開講	【2】	6次産業化の必要性と展開パターン	10:00～16:30	三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
	【3】	行政機関における6次産業化の支援施策と支援機関*1		九州農政局 課長 齋藤互・宮崎県 主幹 外山直一	
6次産業化 ケーススタディパート	【4】	融合型6次産業化事例	11/4（日）	三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
	【5】	連携型6次産業化事例Ⅰ		三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
	【6】	連携型6次産業化事例Ⅱ		三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
ケースメソッドパート	【7】	ケースメソッドの実施方法の解説	9:00～16:30	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子	
	【8】	ケースメソッド：ケースⅠのグループワーク		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子	
	【9】	ケースメソッド：ケースⅠの解説		11/17（土）	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子
	【10】	ケースメソッド：ケースⅡのグループワーク		9:00～16:30	三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太
	【11】	ケースメソッド：ケースⅡの解説		三菱総合研究所 主任研究員 岡田圭太	
海外・実践パート *2 11月3日開講	【12】	輸出型6次産業化事例とそのポイント	11/18（日）	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 教授 明石良	
	【13】	海外6次産業化事例		宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 教授 明石良	
	【14】	食品系の6次産業化実践論*2	9:00～16:30	香川ランチグループ 代表 香川憲一	
	【15】	非食品系の6次産業化実践論		高千穂町民宿「まろうど」 飯干淳志	

科目B：1・2・3次産業基本論

パート	回	各回名称	予定日	担当（敬称略）
オリエンテーション	【0】	オリエンテーション	11/27（火）	宮崎大学 名誉教授 川村修（コーディネーター）
地域資源利用パート	【1】	農林水産業の現状と地域産業振興Ⅰ（農業）	17:30～20:45	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター 教授 明石良
	【2】	農林水産業の現状と地域産業振興Ⅱ（林業）	11/29（木）	宮崎大学農学部 教授 藤掛一郎
	【3】	農林水産業の現状と地域産業振興Ⅲ（畜産業）	17:30～20:45	宮崎大学農学部 教授 石井康之
	【4】	農林水産業の現状と地域産業振興Ⅳ（水産業）	12/4（火）	宮崎大学農学部 教授 吉田照豊
加工・防疫パート	【5】	食品製造学	17:30～20:45	宮崎大学農学部 准教授 西山和夫
	【6】	食品開発における栄養と機能	12/6（木）	宮崎大学農学部 教授 榎原陽一
	【7】	食品加工における安全・衛生管理/関連法規	17:30～20:45	宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター 教授 三澤尚明
	【8】	農場から食卓までの食品衛生管理	12/11（火）	宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター 教授 三澤尚明
流通・販売メニュー 開発パート	【9】	フードシステム論（基礎編・動向編）	17:30～20:45	宮崎大学教育文化学部 准教授 篠原久枝
	【10】	フードコーディネート論Ⅰ（理論編）	12/13（木）	宮崎大学教育文化学部 准教授 篠原久枝
	【11】	フードコーディネート論Ⅱ（事例編）	17:30～20:45	宮崎大学教育文化学部 准教授 篠原久枝
新事業創出パート	【12】	物質・エネルギー利用型地域資源利用論	12/18（火）	宮崎大学 名誉教授 川村修
	【13】	サービス提供型地域資源利用論	17:30～20:45	宮崎大学 名誉教授 川村修
実習パート	【14】	農場・加工場視察実習Ⅰ	12/22（土）	中村牧場（有） 代表取締役 中村教和
	【15】	農場・加工場視察実習Ⅱ	9:00～16:30	宮崎大学農学部附属フィールドセンター

科目C:経営・マーケティング基本論

パート	回	各回名称	予定日	担当(敬称略)
オリエンテーション	【0】	オリエンテーション	1/8(火)	宮崎大学 名誉教授 川村修(コーディネーター)
経営管理パート	【1】	農業経営と企業経営	17:30~20:45	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
	【2】	地域活性化に向けた新事業創出	1/10(木)	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
	【3】	経営理念/組織・経営者論	17:30~20:45	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
	【4】	組織経営と地域ネットワーク形成	1/15(火)	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
	【5】	経営戦略	17:30~20:45	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
	【6】	経営理念とその浸透	1/17(木)	宮崎大学農学部 教授 山本直之・准教授 狩野秀之
マーケティングパート	【7】	6次産業化と知財管理	17:30~20:45	宮崎大学産学・地域連携センター 新城裕司(弁理士)
	【8】	食のマーケティングⅠ(市場環境分析)	1/22(火)	ティーネットプロ(有) 代表取締役 津曲智英
	【9】	食のマーケティングⅡ(STP)	17:30~20:45	ティーネットプロ(有) 代表取締役 津曲智英
	【10】	食のマーケティングⅢ(マーケティングミックス)	1/24(木)	ティーネットプロ(有) 代表取締役 津曲智英
	【11】	食に関する経営情報戦略	17:30~20:45	オリナス(株) 代表取締役 谷口行利
	【12】	財務会計Ⅰ	1/29(火)	ラビセミコンダクタ宮崎(株) 生産性向上グループ担当課長 谷村真一
	【13】	財務会計Ⅱ	17:30~20:45	ラビセミコンダクタ宮崎(株) 生産性向上グループ担当課長 谷村真一
	【14】	商品開発実務Ⅰ	1/31(木)	百姓隊(株) 代表取締役 谷口寛俊
	【15】	商品開発実務Ⅱ	17:30~20:45	百姓隊(株) 代表取締役 谷口寛俊

科目D:新事業創出実践論

パート	回	各回名称	予定日	担当(敬称略)
オリエンテーション	【0】	オリエンテーション	2/9(土)	宮崎大学 名誉教授 川村修(コーディネーター)
	【1】	プレゼンテーション手法		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
事業戦略パート	【2】	経営理念の策定	10:00~16:30	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【3】	6次産業化ビジネスの構想		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【4】	製品・サービスの設計		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【5】	事業環境の分析	2/10(日)	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【6】	事業内容と事業目標の設定Ⅰ	9:00~16:30	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【7】	事業内容と事業目標の設定Ⅱ		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
マーケティングパート	【8】	マーケティングの手法	2/16(土)	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【9】	マーケティングの検討		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
収支計画パート	【10】	収支計画の策定手法	9:00~16:30	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【11】	収支計画の策定		三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
ビジネスプラン 発表パート	【12】	ビジネスプランのリスクチェックと実践方法及び全体調整	2/17(日)	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【13】	ビジネスプランのグループ内分析	9:00~16:30	三菱総合研究所 主任研究員 池田佳代子 岡田圭太
	【14】	ビジネスプランの発表会Ⅰ	2/23(土)	宮崎大学・三菱総合研究所
	【15】	ビジネスプランの発表会Ⅱ	9:00~16:30	宮崎大学・三菱総合研究所

受講者：下表のとおりである（○は受講希望）。

受講者	科目 A	科目 B	科目 C	科目 D	性別	年代	備考
1	○	○	○	○	男	40	農業生産
2	○	○			男	60	民間教育機関
3	○	○	○	○	女	20	大学院学生
4		○			男	20	大学院学生
5		○	○	○	女	50	ミニコミ誌編集
6	○	○	○	○	男	20	農業生産
7	○	○	○	○	女	50	NPO 法人
8	○	○	○	○	男	60	食品加工業
9	○	○	○	○	女	30	NPO 法人
10	○	○	○	○	男	40	人材派遣・育成
11	○		○	○	男	20	フリーター
12	○				男	20	会社員
13	○	○	○	○	男	20	大学院学生
14			○	○	男	20	農業生産
15	○	○	○	○	男	20	農業生産
16		○			男	50	コンサルタント
17	○	○			男	50	民間教育機関
18	○				女	50	食品加工業
19	○	○	○	○	男	20	農業生産
20			○	○	男	60	民間教育機関
21	○	○	○	○	女	20	大学生
22	○	○	○	○	男	20	農業生産・加工
23	○	○	○	○	女	30	印刷業
24	○	○	○	○	男	50	NPO 法人
25			○	○	女	20	プランナー
26	○	○	○	○	男	40	観光業
27	○	○	○	○	男	20	農業生産
28			○	○	男	50	農業団体
29	○	○	○	○	男	60	コンサルタント
30	○	○	○	○	男	30	大学講師
31	○	○	○	○	男	50	6次産業化プランナー
32	○	○	○	○	男	20	農業生産
33	○		○	○	男	20	漁業団体
34		○	○	○	男	50	人材派遣・育成
計	26	26	28	28			

科目別受講者数：科目A＝26名
 科目B＝26名
 科目C＝28名
 科目D＝28名

業種別人数：農林漁業関係＝11名
 商工業関係＝7名
 公共団体関係＝3名
 その他＝13名

女性：8名

修了者：下表のとおりである（○は修了）。

受講者	科目 A	科目 B	科目 C	科目 D
1	○	○	○	○
2	○			
3	○	○		○
4		○		
5		○		
6				
7	○	○	○	
8	○	○	○	○
9	○	○	○	○
10	○	○		○
11				
12				
13		○	○	○
14			○	
15				
16		○		
17				○
18	○			
19	○	○	○	○
20			○	○
21	○	○	○	○
22	○	○	○	○
23	○	○	○	○
24	○	○	○	
25				

26	○	○	○	○
27				
28				
29	○	○	○	○
30	○	○	○	○
31	○	○	○	○
32		○	○	○
33			○	○
34			○	○
計	17/26	20/26	19/28	19/28
	修了者/受講者	修了者/受講者	修了者/受講者	修了者/受講者

科目別修了者数：

科目A=17名（うち女性6名）

農林漁業=5名 商工業=5名 公共団体=1名 その他=6名

科目B=20名（うち女性6名）

農林漁業=5名 商工業=5名 公共団体=2名 その他=8名

科目C=19名（うち女性4名）

農林漁業=5名 商工業=5名 公共団体=2名 その他=7名

科目D=19名（うち女性4名）

農林漁業=5名 商工業=5名 公共団体=2名 その他=7名

評価：講義ごとに受講者に対して行ったアンケートでは、全評価項目（教育内容、教材の完成度、講師の考え方、理解度、総合的な評価）でほとんどの場合80点以上の評価を得た。

フォローアップ：受講生、講師、事務局員が集う懇親会を開講中に3度開催した。希望者を対象に、WEB上で「スキル到達度評価」を実施し「診断結果レポート」を発行した。

4. 成果報告会

成果報告は、科目Dの最終回講義「ビジネスプランの発表会Ⅰ・Ⅱ」を兼ねて学外で公開した。また、東京で開催したビジネスプランコンテストにおいても、事業成果報告を行い、幅広く本事業の成果を公開した。

具体的な実施方法と結果は以下のとおりである。

- 宮崎開催

出席者募集：案内チラシを作成し宮崎大学ホームページに掲載（2月7日）すると共に、県庁記者クラブを通じて報道機関に周知した。

報告会：2月23日に宮崎・青島パームビーチホテル1階会議室において開催した。参加者は、審査員4名を含む計43名であった。4グループによるビジネスプランの発表があり、審査の結果、最高の評価を得たグループが、3月8日に開催する三菱総合研究所（東京）におけるコンテストに出場することになった。

その他：後日、審査員から全体講評が寄せられた。

- 東京開催

出席者募集：受講生及び宮崎での報告会への参加者に告知した。また、三菱総合研究所からも案内チラシ及びウェブサイト（メール）にて募集が行われた。

報告会：3月8日、三菱総合研究所において、各地区代表3グループによるビジネスプランコンテストが行われた。審査の結果、宮崎からの代表グループは2位であった。また、同会場で事業成果報告を行った。